

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成27年11月13日
【四半期会計期間】	第51期第3四半期（自平成27年7月1日至平成27年9月30日）
【会社名】	不二精機株式会社
【英訳名】	FUJI SEIKI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊井 剛
【本店の所在の場所】	大阪市生野区巽東四丁目4番37号
【電話番号】	06(4306)6820(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 山本 幸司
【最寄りの連絡場所】	大阪市生野区巽東四丁目4番37号
【電話番号】	06(4306)6820(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 山本 幸司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第3四半期連結 累計期間	第51期 第3四半期連結 累計期間	第50期
会計期間	自平成26年 1月1日 至平成26年 9月30日	自平成27年 1月1日 至平成27年 9月30日	自平成26年 1月1日 至平成26年 12月31日
売上高 (千円)	3,833,104	4,019,164	5,234,062
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	133,459	22,507	26,155
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失 ( ) (千円)	380,126	35,548	257,015
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	353,480	76,266	169,845
純資産額 (千円)	1,063,159	1,328,902	1,250,260
総資産額 (千円)	6,114,902	6,269,910	6,411,297
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失 金額 ( ) (円)	44.80	4.18	30.27
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	17.4	21.2	19.5

回次	第50期 第3四半期連結 会計期間	第51期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日	自平成27年 7月1日 至平成27年 9月30日
1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円)	35.53	1.63

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第50期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 第50期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
5. 第51期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生したリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の企業で収益の改善や積極的な設備投資計画がみられるなど、明るい兆しも見えはじめたものの、明るみになってきた中国経済の減速を背景とした新興国及び各国の景気減速への影響が懸念されるなど、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、中期スロ・ガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車及び二輪車などの成形事業分野への積極的な展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、「『考動』で価値を創る」をグループ全社員の行動規範とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「見える化」をはじめとする日々の業務の改善活動に取り組んでおります。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比1億86百万円（4.9%）増の40億19百万円となりました。

損益につきましては、射出成形用精密金型及び成形システム事業において原価率が改善したことなどで、営業利益1億29百万円（前年同四半期は営業損失21百万円）、経常利益22百万円（前年同四半期は経常損失1億33百万円）、四半期純利益35百万円（前年同四半期は四半期純損失3億80百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### < 射出成形用精密金型及び成形システム事業 >

医療機器用精密金型の受注が増加したことなどにより、当セグメントの売上高は、15億90百万円（前年同四半期比12.0%増）となり、原価率が改善したことなどで、営業利益96百万円（前年同四半期比213.9%増）となりました。

#### < 精密成形品その他事業 >

自動車部品用成形品の受注が増加したことなどにより、当セグメントの売上高は、24億28百万円（前年同四半期比0.6%増）となり、立ち上げ中の新規子会社フジセイキインドネシアの創業赤字が減少傾向にあることなどで、営業利益30百万円（前年同四半期は営業損失32百万円）にとどまりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1百万円であります。なお、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

#### (4) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設について、当第3四半期連結累計期間に重要な変更があったものは、次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	セグメントの 名称	設備の内容	投資予定金額		資金 調達方法	着手及び完了予定		完成後の 増加能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
PT.FUJI SEIKI INDONESIA	インドネシア 共和国 西ジャワ州	射出成形用精密金型及 び成形システム事業 精密成形品その他事業	金型及び成 形品製造設 備	78,000	—	自己資金	平成27年 4月	平成27年 12月	-

(注) 1. 上記金額には、消費税等を含めておりません。

2. 完了予定年月を平成27年7月から平成27年12月に変更しております。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,720,000
計	23,720,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,054,000	9,054,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,054,000	9,054,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日	-	9,054,000	-	1,034,180	-	85,588

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成27年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 544,200	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 8,509,000	85,090	-
単元未満株式	普通株式 800	-	-
発行済株式総数	9,054,000	-	-
総株主の議決権	-	85,090	-

【自己株式等】

平成27年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
不二精機株式会社	大阪市生野区巽東4丁目4番37号	544,200	-	544,200	6.01
計	-	544,200	-	544,200	6.01

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

なお、平成27年4月1日付で、次のとおり役職の異動を行っております。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役副社長 グローバル事業部・海外事業担当	専務取締役 グローバル事業部・海外事業担当	宮崎 正巳	平成27年4月1日
専務取締役 連結管理担当	常務取締役 連結管理担当	山本 幸司	平成27年4月1日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	829,824	605,870
受取手形及び売掛金	1,239,736	1,239,741
電子記録債権	72,698	74,305
製品	243,284	335,802
仕掛品	377,289	336,014
原材料及び貯蔵品	111,175	131,511
未収入金	442,779	216,813
繰延税金資産	7,058	9,829
その他	96,859	148,446
貸倒引当金	6,300	4,700
流動資産合計	3,414,407	3,093,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	700,533	699,869
機械装置及び運搬具(純額)	743,705	749,268
土地	447,035	447,035
リース資産(純額)	286,232	413,131
建設仮勘定	70,973	72,404
その他(純額)	301,267	321,804
有形固定資産合計	2,549,747	2,703,513
無形固定資産	73,077	73,951
投資その他の資産		
投資有価証券	67,906	87,599
繰延税金資産	14,466	25,362
その他	169,865	183,437
投資その他の資産合計	252,239	296,399
固定資産合計	2,875,063	3,073,864
繰延資産		
社債発行費	14,321	13,834
開業費	105,527	87,646
株式交付費	1,977	927
繰延資産合計	121,826	102,409
資産合計	6,411,297	6,269,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	841,781	689,200
短期借入金	1,645,647	1,661,075
1年内償還予定の社債	122,480	289,840
リース債務	33,576	70,623
未払金	237,781	168,418
未払法人税等	23,674	8,532
賞与引当金	57,833	97,422
製品保証引当金	8,533	8,719
その他	306,214	344,272
流動負債合計	3,277,522	3,338,105
<b>固定負債</b>		
社債	465,840	286,000
長期借入金	1,098,423	911,136
長期末払金	1	-
リース債務	250,409	338,276
繰延税金負債	29,020	23,729
役員退職慰労引当金	14,539	14,539
退職給付に係る負債	5,898	8,465
資産除去債務	19,380	20,756
固定負債合計	1,883,514	1,602,902
負債合計	5,161,036	4,941,008
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,034,180	1,034,180
資本剰余金	224,869	224,869
利益剰余金	179,254	143,706
自己株式	261,849	261,849
株主資本合計	817,945	853,494
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	9,615	8,727
為替換算調整勘定	421,753	464,945
その他の包括利益累計額合計	431,369	473,673
新株予約権	-	795
少数株主持分	945	939
純資産合計	1,250,260	1,328,902
負債純資産合計	6,411,297	6,269,910

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,833,104	4,019,164
売上原価	3,161,251	3,162,509
売上総利益	671,852	856,654
販売費及び一般管理費	693,136	726,753
営業利益又は営業損失( )	21,283	129,901
営業外収益		
受取利息	1,029	1,439
受取配当金	268	174
為替差益	-	3,001
仕入割引	739	767
受取保険料	-	8,554
補助金収入	11,287	-
その他	562	6,815
営業外収益合計	13,887	20,754
営業外費用		
支払利息	57,868	71,867
為替差損	16,959	-
社債発行費償却	3,342	3,846
開業費償却	19,126	20,445
その他	28,766	31,988
営業外費用合計	126,064	128,148
経常利益又は経常損失( )	133,459	22,507
特別利益		
固定資産売却益	46,866	3,069
持分変動利益	1,470	-
特別利益合計	48,337	3,069
特別損失		
固定資産売却損	1,495	753
固定資産除却損	267	6,278
減損損失	71,948	-
関係会社整理損失引当金繰入額	179,574	-
特別損失合計	253,286	7,032
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	338,408	18,544
法人税、住民税及び事業税	8,260	15,280
過年度法人税等戻入額	-	12,329
法人税等調整額	36,188	18,802
法人税等合計	44,448	15,852
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	382,857	34,396
少数株主損失( )	2,730	1,151
四半期純利益又は四半期純損失( )	380,126	35,548

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	382,857	34,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	240	888
繰延ヘッジ損益	86	-
為替換算調整勘定	29,221	42,757
その他の包括利益合計	29,376	41,869
四半期包括利益	353,480	76,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	350,892	77,852
少数株主に係る四半期包括利益	2,587	1,586

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
減価償却費	215,482千円	209,339千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,419,528	2,413,576	3,833,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	178,896	-	178,896
計	1,598,424	2,413,576	4,012,000
セグメント利益又は損失( )	30,676	32,137	1,461

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,461
セグメント間取引消去	19,822
四半期連結損益計算書の営業損失( )	21,283

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産にかかる重要な減損損失)

当社は平成26年10月29日開催の取締役会において子会社の操業停止を決議したことに伴い、「精密成形品その他事業」において減損損失71,948千円計上しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成27年1月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,590,300	2,428,864	4,019,164
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81,672	-	81,672
計	1,671,972	2,428,864	4,100,836
セグメント利益	96,294	30,499	126,793

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
 （差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	126,793
セグメント間取引消去	3,107
四半期連結損益計算書の営業利益	129,901

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	44円80銭	4円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ( )(千円)	380,126	35,548
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半 期純損失金額( )(千円)	380,126	35,548
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,484	8,509
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかつ た潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変 動があったものの概要	-	平成27年5月15日開催の取締役 会において決議された新株予約 権(新株予約権の総数3,460個) 普通株式346,000株

- (注) 1. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月10日

不二精機株式会社  
取締役会 御中

仰星監査法人

代表社員 公認会計士 高田 篤 印  
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 里見 優 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二精機株式会社の平成27年1月1日から平成27年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二精機株式会社及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。